

## 令和7年コンサルティングエンジニア連盟 第2回意見交換会要旨

日時 2025年11月18日(火)11時25分～12時50分

場所 グランドアーク半蔵門 3階 「光」

出席 見坂茂範 参議院議員 富山 秘書 以上2名

建コン協 大本 会長 福岡 副会長 高橋 副会長 多田 副会長

常任理事 山林理事(西村氏代理) 堤 野本 原田 白水 早野 CE連盟北海道支部長(今氏代理)

菅原 CE連盟東北支部長(田澤氏代理) 牧村 來山常任委員(小田氏代理) 以上13名

CE連盟 村田 会長 松村 幹事長 森 会計責任者 長谷川 本部顧問 高野 本部顧問

松原 会計責任者代行 和作 本部幹事 欠席：大島 本部顧問 以上7名

合計22名

(※(一社)建設コンサルタンツ協会は以下「協会」、コンサルティングエンジニア連盟は以下「連盟」と略す。)

議事次第 国政報告 見坂参議院議員 11時25分～11時45分

昼食会・意見交換会 11時55分～12時50分

松村 幹事長 只今より令和2年第2回意見交換会を開催します。

早速ですが見坂茂範参議院議員にご講演をお願いいたします。

### 見坂茂範 参議院議員国政報告要旨

大変厳しい参議院選挙でしたが、高位当選することができました。選挙活動は大変多忙でしたが、今は、選挙期間中よりも国会議員の方が多忙で、土日もなく昨年末に足立敏之様が亡くなられて職域代表が一人になったため、道路はもちろん、河川、砂防、港湾まで全国の市町村長の要望が全部私一人に来て、10分ごとに要望を聞く等超多忙です。ただ、全国1700人の市町村長のできる限り多くの方の要望を聞くことが大事だと思っています。河川、道路等の大会、朝食会等も一人に対応しています。

一方、昨年の衆議院議員選挙、今年の参議院議員選挙で自民党の議員が減ったため、いろんな役職が回ってきますが、高位当選(比例区21.8万票、特定枠除いて第3位)によって自民党内での評価が高いことを再認識しています。これは、私よりも、建設コンサルタント、コンサルティングエンジニア連盟の皆様を含めた建設産業界の評価が高まったことと理解しております。建設産業、地方自治体首長の期待に応えて、皆様からの声を吸い上げて政策実現へ微力ですが尽くしていきたいと思えます。

この時期は、補正予算が佳境ですが、大変厳しく、高市総理が積極財政と言いますが、財務省の査定が厳しい状況です。新聞紙上では17兆円規模と出ていますが、真水で14兆円とガソリン減税、暫定税率廃止、他の減税などで3兆円です。昨年の補正予算も14兆円でしたが、今年は高市総理が選挙公約で防衛費をGDPの2%(約3兆円)前倒しと言っており、それで14兆円+3兆円となっております。その為か公共事業の他、農業・文科省・社会保障等の予算の査定が厳しい状況です。今、財務省に要望しており、皆様は国土強靱化の1年目の予算計上に期待が大きいかと思えますが1千億円でも2千億円でも上積みをと考えており、本日も国土交通部会で昼過ぎに高市総理へ要望する予定です。

国会では、高市総理が所信表明をされ、私は国土交通委員会に所属し、常任委員会が今日から始まります。先程大臣から所信表明がありまして明後日から質疑応答が始まりますが、機会があれば積極的に発言していきたいと思っています。

建設コンサルタント業界では、仕事量の確保、発注件数の確保が最大の課題だと思っています。設計技術者単価が13年連続アップしましたが、予算の総額が増えていません。発注件数の増が必要です。公共事業の予算の増額、すなわち件数の増加が必要です。国交省は業務単価や諸経费率、低入札価格調査基準の上限(以下、「調査基準価格」という)を上げたりすることはできますが、予算総額を増やすには国会議員の力が必要で、政治の役割だと思えます。国交省へはコンサルティング業務について、現場の実態に合うように、諸経費、DXによるハイテク化で経費が掛かっている点について、国交省がそのことを汲み取って、諸経费率を見直して単価に活かすべきです。また、調査基準価格についても設計業務は81%と低い。いきなり工事の92%へのアップは無理としても、1%でも、2%でもアップすべきです。もう1点、公共工事のスライド条項、複数年契約工事の単価改正への反映は、コンサルティング業務でも適用すべきと国交省にお願いしています。旧年度単価への反映などでは制度設計が必要で、国交省へ宿題を出してアドバイスしています。

建設コンサルタント業界の皆様がもう少し利益率、経常利益が良くなって、これからの建設産業界を支えていただけるように頑張ってください。かつ、これからの若い人達に、当業界が夢のある業界、将来を期待できる業界と思ってもらえるように、皆様方と一緒に、特に政治の世界で私が先頭に立って尽力して参りますので、よろしくお願ひします。

**松村 幹事長** 見坂先生ありがとうございました。引き続き見坂先生との意見交換会を始めます。

それでは村田コンサルティングエンジニア連盟会長から開会の挨拶をお願いします。

**村田連盟会長** 連盟会長の村田でございます。只今見坂議員から超多忙なご活動を伺いましたが、色々我々のためにご対応いただき感謝申し上げます。本日は見坂議員、建コン協の会長、副会長始め常任理事の各位にご多忙の中ご出席頂きありがとうございます。開始に当たり昨年末の足立先生のご逝去、本年7月には佐藤先生のご勇退という厳しい中、職域代表唯一の国会議員として孤軍奮闘されている見坂先生に感謝申し上げます。これまで職域代表議員でした佐藤先生、足立先生には、「技術者単価の13年連続の増加」や「国土強靱化施策の推進、補正予算の獲得」に向けてご尽力頂き感謝しております。とりわけ、一昨年6月に改正された国土強靱化基本法によって、実質的な予算を伴う「国土強靱化実施中期計画策定の法定化」にお骨折り頂きましたこと、感謝申し上げる次第です。このことが、かつての5か年計画のように社会資本整備の長期計画に結び付く一端になることを期待しております。引き続き、当初予算の増額等に向けてご活躍のほどよろしくお願ひ申し上げます。

本会は毎年この時期に連盟の主催により職域代表議員と協会幹部との忌憚のない意見交換をする場ということで設けさせて頂いております。限られた時間ですがどうぞよろしくお願ひ致します。

**松村 幹事長** 続きまして、大本建コン協会長にご挨拶をお願いします。

**大本 建コン協会長** 建コン協会長の大本です。参議院議員選挙では高位当選おめでとうでございます。

協会活動についてお話しします。今年度は地方ブロックの意見交換会(9ブロック)と道路局との意見交換会が終了しております。要望と提案では冒頭で設計技術者単価アップ、公共事業量の拡大、コンサルタントへのスライド条項の導入など、先程見坂議員がおっしゃったのと同様の主旨で要望しておりますが、国交省への要望ということで、見坂議員がおっしゃった通り正に国交省の本省の中で解決できる問題もございますが、やはり職域代表である見坂議員にお願いすることも沢山あると思っております。特に、事業量の確保、拡大をお願いします。国土強靱化中期実施計画の初年度にどれだけの予算を確保できるのか非常に重要なことだと理解しております。高市政権の誕生が我々に追い風と感じておりますが、先程のお話でもそんなに簡単ではないとのことですが、そんな中でもしっかりと予算の確保をお願いしたいと思います。

協会では本年6月に建設コンサルタントの地位向上検討委員会を設置し、その中で著作権等の問題も関連する業務における生成AIの利活用や、品確法の改正へのモニタリング方法等の短期的、当面の課題とともに、報酬制度の改革や知財の問題など、中長期的課題もあります。見坂議員には、職域代表として次の選挙、そしてその次の選挙に向けて末永く応援して参ります。その中で我々の中長期的な課題などについてご相談できればと思っております。

ご多忙と思いますが、ご活躍を期待しておりますので引き続きよろしくお願ひします。

**松村 幹事長** 大本会長から選挙のお話でしたが、今回の参院選では建コン協に大変お世話になりました。特に多田副会長には沢山助けて頂きました。この場を借りて御礼申し上げます。それでは福岡副会長から順に各位1分半程度でご発言をお願いします。(以下、要望に特化し「高位当選への御礼」「日頃の共通の御礼のご挨拶」については共通のため省かせて頂きます。)

**福岡副会長** 協会の副会長を務めています。7月の高位当選は、見坂先生の訴えが届いたと同時に、我々建設産業界の危機感の現れかと思えます。先程大本会長からの話にありました通り、地方ブロックでの意見交換会において私は対外活動委員長として、要望、提案資料の説明をしましたが、業務の平準化、ウイクリースタンスがかなり加速化していると感じました。ただ、先程見坂先生が仰いましたが事業量の確保については国交省ではなく先生にお願いするしかありません。技術者単価とか、調査基準価格がアップしたとしても、事業量が増えないと利益が下がり、人的投資とか技術開発投資、生産性向上への投資が進まず、ひいては若い人がこの業界に目を向けなくなります。是非とも補正予算、当初予算の確保による事業量の拡大をお願いします。

**高橋 副会長** 協会の副会長を務めています。賃上げ3%についてのお願いです。総合評価落札方式での加点措置の制度が4年目を迎えました。最近の物価上昇を考えますと企業として賃上げが必須だと思っております。昨年もこの場で同じ話をしましたが、そろそろ加点措置は、再考時期にきているかと思っております。高市総理は従前から賃上げは政府が強制するのではなく経済成長と企業支援等を環境整備することによって実現すべきだとの趣旨の発言をされていますので、この観点からも加点措置の終了の後押しをお願いします。

**山林 理事(西村常任理事の代理)** 協会企画部の副副会長を務めております。見坂先生が近畿地整局長時代には大変お世話になりました。先生から「夢のあるそして将来のある業界なのか?」と伺いま

して、建設コンサルタントの法制化、可能性についてお話しします。我々の業界が当時の建設省の登録規程に業者登録を始めたのが1965年です。60年経ちますが、現在登録企業数が3,900社を超え、従業員数も14万人強へと増加しています。当時業法制定の可能性が議論されたようですが、まだ時期尚早ということでした。当時に比べて企業数が15倍以上に増え、一方仕事の内容が、老朽化対策、国土強靱化の計画・設計等が待ったなしの状況です。また、人口減少の中、我々の人材確保も難しく、地方自治体での技術者の確保も難しくなっており、我々が設計しインハウスエンジニアが実施することが難しくなっています。「建設コンサルタント業法」を設けて頂いて我々の立場を明確にすることが、品質の向上につながり、先程仰って頂いた将来性のある業界と見なして優秀な学生が集まってくるのではないかと期待しております。ぜひ法制化の可能性についての検討をお願いします。

**堀本 常任理事** 協会の技術部会長を務めており、先日見坂議員の広報活動中にお話させて頂いた際に防衛予算のインフラへの活用について教えて頂きました。国交省の道路局との意見交換において、テーマとしてWISENET2050を提案しました。国際的な道路整備水準や機能的なものを国家安全施策として推進するという話で、これまでの道路の機能に加えて、災害に強い他、国家安全保障の側面での評価が組み込まれています。今後はこれまでの交通量予測からのB/Cや地域のKPIだけでなく、多角的な検討ができる、例えば立ち遅れている地方や都市の道路整備が違った観点から推進される可能性があるかと期待しています。防衛基地は地域とか離島など様々な環境の中にありますが、その付近では遅れがちなインフラ整備に期待しています。最近のお考えがございましたらご披露をお願いします。

**野本 常任理事** 6月に当社にてご講演頂きありがとうございます。若手から「政治に対する興味が持てた」とか、「選挙に行ってみよう」の声が聞かれましたので、ご多忙とは思いますが今後も個社を回ってご講演頂ければ幸いです。見坂先生から「夢のある業界」というお話がございましたが、現在建コン協ではインフラ整備70年ということで100のプロジェクトの講演会を行っています。私共雑誌などを見ているのですが、非常に興味深いプロジェクトが沢山ありますが、今後はメンテナンスの時代になると中々出てこないと思います。1つでもそういうプロジェクトを先生のお力で是非つくってください。いくら給料上げる、残業を無くすとか言ってもやっていることが魅力なければ若手は集まらないと思いますので、「魅力あるインフラ整備」に向けて働きかけをお願いします。

**原田 常任理事** 予算についてのお話ですが、選挙以降従業員に対して職域代表の国会議員と高位当選の重要性を周知、共有してきました。その影響か、現在の少数与党の状態、職域代表議員が2名から1名になったことを受けて、公共事業予算も減るのではないかと非常に危惧しております。見坂議員には安定的な公共事業予算の確保と拡大へ向けてご尽力頂ければと思います。

**白水 常任理事** 先程から皆さん仰っていますが公共事業予算の確保、拡大ですが、何の為かというのが大事だと思います。国土強靱化とか経済安全保障とか、高市総理が言われている中で、国土強靱化法を更に上回るような昔の四全総（第四次国土全国総合開発）のような予算とリンクした計画をお願いします。お願いするだけでなく、我々建設コンサルタントは、そういった夢のプランを描けるような若いエンジニアを育てていきますので、よろしくをお願いします。

**早野 連盟北海道支部長（今常任理事の代理）** 2点要望します。一つは北海道と本州を結ぶ青函トンネルは鉄道専用で、昭和54年に開業から37年経っており、老朽化し、維持管理の面でも課題が顕在化しております。北海道は国土の22%を占める広大な土地で、日本の食糧供給基地ともなっている重要地域ですが、本州と道路で繋がっていません。物流と緊急時の面で制約があるのが現状です。食糧の安定供給、防災、ロシアとの国境に近いという特性を考えますと防衛、安全保障の観点からも道路で繋がる第二青函トンネルの検討、取組をお願いします。もう一点は、北方領土に接する根室と稚内への交通インフラが整備されていませんが国防の観点からも非常に重要だと思います。こうしたインフラ整備に防衛関係費を活用できるように、ぜひ検討、対応をお願いします。

**菅原 連盟東北支部長（田澤常任理事の代理）** 先日の宮城県知事選では、最近選挙のPRの仕方が変わってきたのか、仙台市では現職の村井知事より参政党候補者の得票が上回るという現象が起きました。3年後、6年後の選挙へ向けて準備が必要かと思いました。私からは1点、賃上げに関わる話ですが、見坂議員からスライド条項、調査基準価格のお話がありましたが、コンサルタントはゼネコンと比べて人件費率が高い業種です。毎年3%以上の賃上げがいつまで続くのか先が見えないのですが、徐々に経営への影響、プレッシャーが大きくなっているかと思います。と言っても国交省からの業務受注をしている以上、賃上げを表明しないという選択肢はありませんので、是非ゼネコンと比べて影響が大きいので、スライド条項とか調査基準価格についてご配慮いただきますようお願いいたします。

**牧村 常任理事** 協会の中中部支部長を務めておりますが、中部で今一番懸念していることは南海トラフ地震による産業基盤の機能不全です。これは日本全国の機能不全に陥る恐れがあるからで、ぜひ産業インフラのレジリエンスの強化に力を入れて頂きたいと思います。中部は自動車、工作機械、半導体関連の企業が集中しております。特に三重県の半導体関連の出荷量は日本一です。また、愛知県西部

には軟弱地盤が広がっており、地震発生時には三重県方面の交通がストップする恐れがありますので産業関連のインフラ整備の強化をお願いします。

**來山 常任委員（小田常任理事の代理）** 2点お願いします。中国地方は道路の新設が減ってきて、最近西広島バイパスが事業化されたところですが。山陰道も出来上がって来て、残るのは4車線化ぐらいです。ただ道路計画はまだあります。是非それを早く動かして頂ければと思っております。もう1点、地方では新しい人材確保に苦勞しており、毎年応募ゼロの会社も増えていると聞きます。学校に「土木工学科」が無くなって学生が減っております。建設コンサルタント業界の魅力、やりがいなどを伝えていくのは我々の課題ですが、蛇足ですが個人的には「土木工学科」の名称復活を望みます。

**松村 幹事長** 建コン協各位からのご意見、要望を踏まえまして見坂議員にご発言頂ければと思っております。

**見坂 参議院議員**

ご意見頂きありがとうございます。1番多いのは事業量の確保ですね。次に加点措置ですね。

**加点措置について**

賃上げ加点措置は、私が国交省の技術調査課長時の令和4年に検討し令和5年度に開始したが当時の岸田総理の肝入りで財務省が大枠を作り全省庁一斉に号令がかかりました。私は、令和5年から賃上げということで、賃上げしやすいように技術者単価を5%以上(5.4%)引き上げ、賃上げ加点措置は、2年間やればプラスのスパイラルになるから、終わりとするシナリオを描いていた。今、終了を国交省に要請していますが、皆さんからも国交省へ要望して下さい。

**建設コンサルタント業法について**

品確法改正で「調査等」が盛り込まれたのでそれで良いと思っていましたが、「業法」を制定することは考えられることなので、これは私の大きな宿題とさせていただきます。

**第二青函トンネル（道路トンネル）**

第二青函トンネルは、北海道だけの為だけでなく、日本として必要だと思います。昔は道路トンネルの場合30kmを超えると換気塔が必要でしたが、今は車の性能が良くなって排気ガスがほとんど出ません。さらに今後は電気自動車が増えるので、トンネル完成の20年後には排気ガス問題は無くなると思いますので道路トンネルが可能だと思います。

**四全総（第四次国土全国総合開発）について**

四全総のようなものを私はつくりたいと思います。建設業界の為ではなく、国民にこれからの日本の姿、長期的なビジョンとしてどういった日本の国土の姿にしていくのかを示したものが四全総だからです。当時、私は国交省の係長時代の平成10年に5回目の全総(四全総と異なり本文のみ)に携わりましたが、役所の若い人は知らない人が多い。四全総は国の重要なビジョンであり、見えるものが重要です。国の将来ビジョンがわからないと他の政党に行ってしまう。中長期ビジョンは若い人に必要です。例えば、第二青函トンネル、第二関門海峡プロジェクトのようなものが日本のどこかで動いていると若い人がそれにのってくるだろう。「これからの建設産業っていいな」とか「俺も携わりたい」と思って入って来てもらえるのではないかと思います。そのためには建設コンサルタント業界の皆様にも頑張ってもらいたいと思います。しっかりと設計をしないと大きなプロジェクトは難しいですから。

もちろん冒頭申し上げたスライド条項の導入、調査基準価格の引き上げ、諸経費率の引き上げ等の課題もありますが、大きな視点での仕事にも私自身、この期待にインフラ代表の国会議員として、取り組んでいきたいと思っておりますので皆さんも業界から声を挙げて下さい。

**松村 幹事長** 見坂議員、貴重なご発言をありがとうございました。それでは最後に長谷川本部顧問に締めめの挨拶をお願いします。

**長谷川 本部顧問** 見坂議員には国会の大事な時期に意見交換会に出席頂きましてありがとうございます。職域代表が2人から1人になって、大変ご多忙かと思いますが、自民党の厳しい政治環境の中で、参議院選挙では3位の高位当選を果たされ今後もご多忙かと思いますが頑張ってください。

参院選では多田建コン協副会長に尽力頂きましたが、若い人には「職域代表」という言葉がささったと聞きます。「我々の仲間を国会議員に送る」という認識を今後も深めていきたいと思っております。3年後の新たな職域代表2名へ向けて、見坂議員を支援して参りますので連盟に情報のご提供をお願いします。一人での激務は大変でしょうが、お一人で二人分の獅子奮迅のご活躍をご期待します。最後にインフラでの我々の存在感や、使命を果たすためには、健全な政治との関わりが重要と考えておりますので、議員からのご支援、ご指導をよろしく願いするとしてこの会の締めめの言葉とさせていただきます。今後ともよろしく願い致します。

以上